

# ようこそ、君の「探究の旅」へ。

令和8年度 茗台中学校が目指すもの



“中学校の3年間は、未知の自分や社会と出会うワクワクする冒険です。”

“茗台中学校は、君の旅路を支える「ベースキャンプ」であり、  
進むべき道を示す「羅針盤」になります。”

# 私たちの目的地：「輝く茗台中 共に成長する茗台生」

**ビジョン**：地域（ヒト、コト、モノ）をよく理解し、  
期待の一步先いく学校

**ミッション**：豊かな共生社会の実現



## 目指す学校の姿

- ・一人一人が自ら学び、考え、判断し、表現する力。
- ・互いに認め合い、支え合う豊かな人間関係。
- ・よりよい社会を築くため、考え行動する態度。
- ・これらを育む「笑顔・共感・創造のある学校」を目指します。

# この旅で出会う「3つの新しい自分」

## Adventurer Profile



問いを立て、  
粘り強く学ぶ人

「なぜ？」を大切にし、自ら考え、学習に励む。学んだことを自分の言葉で発信できる生徒。

## Adventurer Profile



多様性を尊重し、  
優しい人

思いやりと自主自律の心をもつ。違いを認め合い、優しさをもって人と接することができる生徒。

## Adventurer Profile



世界を見つめ、  
行動する人

心も体もたくましく、グローバルな視点を持ちながら、地域社会に貢献できる生徒。

# 旅を支える「3つの約束」(学校経営の重点事項)



## 2. 対話と笑顔の 関わり合いの醸成

「否定せずに聴く」  
多様性をつながり。



## 1. 安心して失敗し、 挑戦できる環境づくり



「失敗しても大丈夫!」  
と言える安心感。



## 3. 学び、磨き続ける 「探究知の空間」づくり

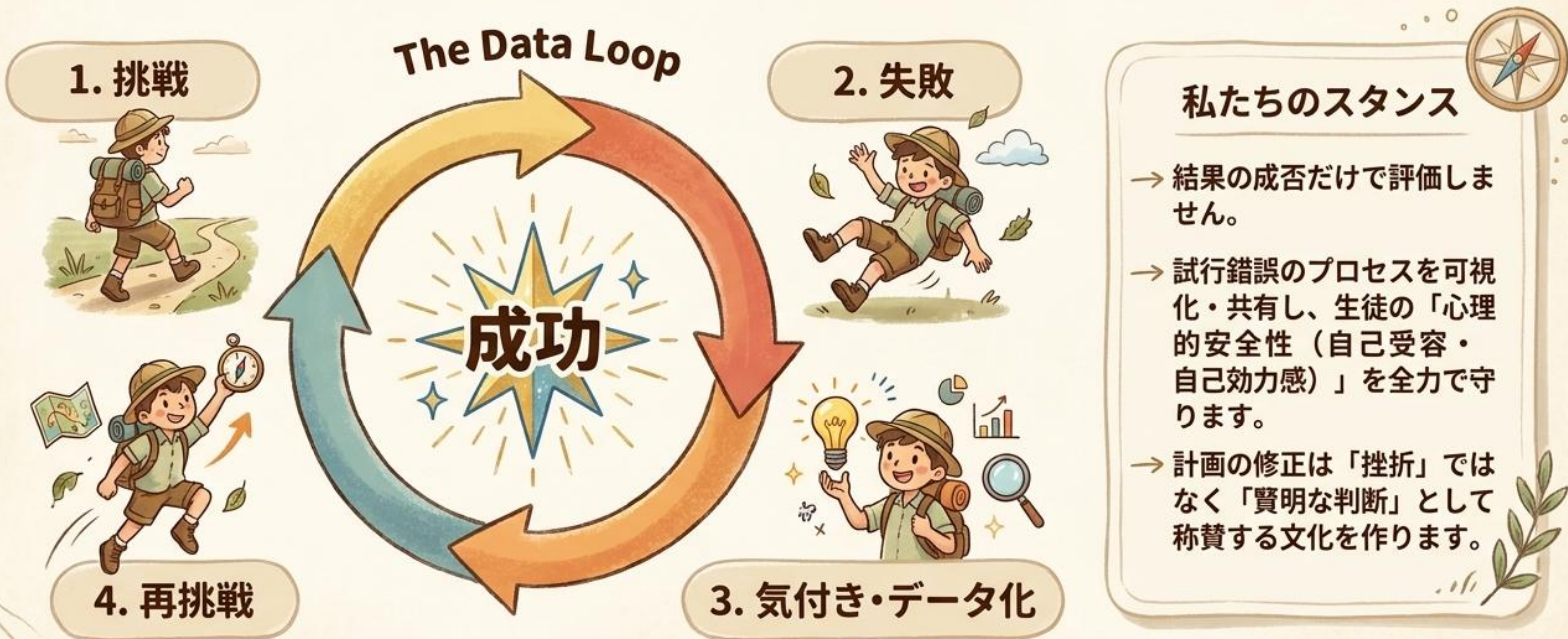


先生も一緒に学び、  
成長し続ける姿勢。



# 約束1: 失敗は「ダメなこと」じゃない。

次に成功するための「大切なデータ」です。



# 「安心して失敗できる環境」をどう作るか？



## プロセスを評価するワークシート

各教科で「今回試したこと」と「得たデータ（気づき）」を書く欄を設け、挑戦のプロセス自体を評価します。

## 生徒主体の行事運営



行事は未知の仲間と出会う「旅」。実行委員会に大胆に任せ、失敗も含めて「自分たちで作る誇り」を実感させます。

## いつでも休めるセーフティネット

困った時や心身の不調時は、保健室や相談室がいつでも心を休め、頼れるベースキャンプとして機能します。



## 約束2: 「否定せずに聴く」が、すべての基本ルール。

他者の異なる意見は、自分を成長させる「新しい視点」。



- 全ての授業の冒頭で「否定せずに聴く」ルールを徹底します。
- 性、障害、文化の違いを尊重し合う対話的な学びを実践。
- 誰もが笑顔で自分らしく過ごせる、ウェルビーイングな環境を実現します。

# 教室を飛び出し、地域を「探究の旅先」に。



## ・地域社会との関わり

地域の調査活動や行事への参画を通じ、多様な生き方に触れ、固定観念を打破します。



## ・笑顔のメッセージ交換

行事後などにお互いの健闘を称え合い、自身の貢献を実感できる仕組み（自己有用感の向上）を作ります。



## ・前向きなストレスマネジメント

困難に直面しても仲間と支え合い、笑顔で立ち直る指導を取り入れます。

## 約束3：先生も、みんなと一緒に学び続ける「探究の仲間」です。



- 教職員自らが「本・旅・人」を通じて自己研鑽を習慣化します。
- 公開授業での挑戦と失敗もオープンに共有。
- 「先生も学び、アップデートし続ける姿勢」を生徒の目の前で示します。

# 生徒と向き合う時間を最大化する「空間づくり」



Action 1:  
デジタル学習基盤  
(AIドリル) の活用



生徒が自分の改善点をデータで客観的に把握し、自律的に学ぶ機会を保障します。

Action 2:  
業務の再定義と時間の創出



教育の目的に照らして意義の薄い活動や慣例の行事・事務作業を大胆に削減(やめる・変える)。創出した時間を、生徒一人一人との対話や教員の専門性向上に充てます。

# 茗台中学校が起こす、学びのパラダイムシフト

## これまでの学校のイメージ

失敗の捉え方  
隠すもの・減点対象

授業のあり方  
先生が一方向的に教える

地域の役割  
単なる「学校の外」

教職員の姿  
完璧な指導者・多忙

## 茗台中の新しいアプローチ

オープンにするもの・  
次に成功するためのデータ

「否定せずに聴く」を基盤に、  
対話で深め合う

多様な生き方に触れる  
ワクワクする「探究の旅先」

共に学ぶ仲間・  
無駄を省き生徒と向き合う

# 全てが繋がりに、たくましい木（生徒）が育つエコシステム



安心できる土台があり、豊かな対話という水が注がれ、探究という栄養を吸収することで、社会の変化に対応する力が育ちます。

# さあ、一緒にワクワクする探究の旅へ。

私たちは、皆さんが笑顔で挑戦し、時には失敗しながらも、たくましく成長する3年間で全力でサポートします。

「この学校なら大丈夫」。そう信じられる安心の居場所（ベースキャンプ）を、教職員、保護者、地域が一体となって創り上げます。

文京区立茗台中学校  
令和8年度からの新たな一歩に向けて。